

司書・公立図書館と連携した授業 ～単元の中で本を活用した授業(読書郵便)～

新潟県 新潟市立紫竹山小学校

基本データ

所在地	新潟市中央区紫竹山 1-12-1
児童生徒数	537人
教職員数	35人
蔵書数	約11,000冊
年間貸出冊数	93,670冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 人物の行動や様子に着目していろいろな物語を読み、読書郵便で好きな人物を紹介することをとおして、読む力を付ける。

取組・活動の概要

【対象学年】1年

【対象授業】国語「おとうとねずみチロ」

【使用した教材等】

- 児童がペアで1冊ずつ選んだ本が持てる必要数(2冊×児童半数分)の図書

【取組内容】

- 教材文の学習と並行して、様々な本を読むことができる環境を整えた。



平行読書と読書記録の掲示

取組・活動の工夫や特徴

- 学校司書と連携し、主人公に共感しやすい本を選書し、児童に紹介する。
- 児童がペアで1冊ずつ選んだ本が持てるように、学校司書をとおして学校図書館支援センターに依頼し、必要な冊数を用意した。
- 学校図書館への支援をとおして学校図書館の利活用を図り、学校における子供の読書活動を

推進するために、学校図書館支援センターが、4つの新潟市立図書館に設置されている(一人1冊本が持てるよう、公立図書館の本を学校が借りることができる体制をつくることのできた)。

- 学校司書に選書やブックトークを依頼するための事前打ち合わせの時間を校内でつくった。

取組・活動の成果や今後の展望

- 一人が1冊本を持つことができる環境を整えたことにより、自分の速さで本を読み進めるなど、学習がスムーズに展開した。
- また、自分が選んだ本に愛着をもって喜んで読む姿が見られた。



読書郵便